

## 総合評価

受診施設名	龍雲寺保育園	施設種別	保育所
評価機関名	特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」		

平成20年2月25日

総 評	<p>福知山市の中心部からは少し離れた山間部に立地し、春は緑、冬は雪深く自然に恵まれた環境を有効に特徴立てた保育環境のもと、年間を通じて自然との融和を意識した多彩な園独自のプログラムにより保育がなされています。また、園長が隣接するお寺の住職を兼任、ゆるやかな信仰心を保育理念にも融合させて保育実践が行われており、園児の人格基礎形成、情操教育にも反映されていることが見受けられました。保育士が3名、園児も34名と大きな保育園ではありませんが、園長自身が園児通園バスでの送迎を担い、時には厨房に立つ等、積極的に園での役割を表明し、オールラウンドに活躍される中で、個々の保育士もそれぞれの自覚と責任において細やかな保育サービスが提供されています。</p> <p>少人数体制でのおのずと限界がある場面も拝察されますが、今後とも現場実践・園内マンパワーだけに依拠することのないよう地域資源や社会関係資本を有効に活用して連携を図りながら、保育サービスの向上に向けたシステムづくり・マニュアル化・整備等にも一層の工夫と取り組みにより質の高い保育サービスの提供に期待します。</p>
特に良かった点(※)	<p><b>I-3 (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</b> 園児送迎の運転を管理者自らが担い、リーダーシップを発揮されるとともに、送迎時に保護者からの意見・要望を直接聞き取る場面があることで、保育現場に有効に反映されている。</p> <p><b>II-2 人材の確保・養成</b> 保育士が3名と少人数体制の中でも、計画的に有給休暇取得にも工夫がなされている。また、体制的な制約がある中で定期的に研修が実施されていることは評価できる。個別研修計画等の作成することでより専門性の向上に向けた取り組みに期待が寄せられる。対象園児の有無に関わらずアレルギー除去食に専門的スキルを研鑽されている栄養士の存在等は高く評価できる。</p> <p><b>A-1 子どもの発達援助</b> 過疎化、少子化、他保育所との差別化など、厳しい保育環境ではあるが、園児の個別の発達を踏まえ、指導計画にも混合保育の特性を引き出した、園としての特色のある発達援助・保育サービスが丁寧に実践されている。</p>

特に改善が望まれる点(※)	<p><b>I-3 (1) 管理者の責任が明確にされている。</b> 現場における保育実践状況においては高く評価できるものであるが、管理者の役割が明文化されたものや規定、各種法令についての書類整備が不十分であった。関係法令等の書籍を整える上で周知・検討・研修等の取り組みが求められる。</p> <p><b>III-3 サービスの開始・継続</b> 当園独自のホームページは確認できなかった。潜在的ニーズや現利用者がさまざまな情報を得やすくするためにも、独自または法人としてのスケールメリットを生かしたホームページの作成等、情報公開システムが求められる。</p> <p><b>A-3 安全・事故防止</b> 衛生管理マニュアル、食中毒対応マニュアルは一定策定されているが、マニュアルの検討・見直しが不十分である。定期的に見直すことで、危機管理に対する意識の向上に期待する。</p>
---------------	---

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【共通評価基準】

# 評価結果対比シート

---

受診施設名	龍雲寺保育園
施設種別	保育所
評価機関名	きょうと福祉ネットワーク「一期一会」
訪問調査日	平成20年1月30日

## I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B	B
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	非該当	
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。	非該当	
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮して	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	A

## 【自由記述欄】

- I-1 理念・基本方針に基づき保育目標が作成されているが、職員や保護者への周知が不十分である。毎月発行されている「園だより」を利用して周知するなど工夫をされてはいかがだろうか。
- I-2 月1回全員参加の職員会議で事業計画、月間計画の確認がなされている。また、日々の問題点や課題は、主任を中心に話し合い即座に対応する習慣が出来ていた。
- I-3-(1) 管理者の役割が明文化された規程等が確認できなかった。組織体として管理者の責任所在を明確にされてはいかがだろうか。また、保育指針など保育に関わる法令集の整理はなされていたが、そのほか園を運営するために必要な各種法令についての整理が不十分であった。園の運営には、労働法、消防法など関連する法は多岐に渡る。社会福祉法など関係法令についてまとめた書籍を整備をされてはいかがだろうか。
- I-3-(2) 職員数が限られた環境の中、管理者（園長）が環境整備を率先して実施する、研修参加や休暇取得などにより人員が不足する場合は補充員となるなど、園の運営にマルチなリーダーシップを発揮されていた。また、送迎に出ることで保護者からの生の声を聞き、改善すべきは即座に対応するなど、質の向上に向けた取り組みが確認できた。

## II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	B	*C
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		B	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	A
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	C	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		C	A	

【自由記述欄】	
II-1	福知山市の園長会に出席をして、市全体の課題、保育園地域の課題を的確に把握されていた。
II-2-(1)	地域の少子化による子どもの減少という園の経営に直結する課題を的確に把握し、中期ビジョンの作成にあわせて人事体制の検討がなされていた。*人事考課は導入されていないため、C評価としている。
II-2-(2)	保育士3名と限られた環境の中、園長、栄養士と連携して物理的に不十分な部分を除き、計画的に有給休暇を付与するなど就労環境向上への工夫が確認できた。
II-2-(3)	職員体制が厳しい状況下で、職員が希望する研修等には積極的な支援を行っていたが、職員一人ひとりに対しての研修計画が明文化されていなかった。個別計画の作成は、職員の目標設定となりモチベーション向上につながると思われるので、作成されてはいかがだろうか。
II-3	地域独自の危険対応マニュアル(マムシ、熊などへの対応)が作成されていた。また、子どもたちには、自然と触れ合う保育活動の中で危険に対する教育がなされていた。
II-4-(1)	地域行事の案内を園で行い、園長が運営するホームページで紹介するなど、積極的に地域との関わりを持ち、園の機能を活用している状況があったが、園としてのホームページは開設されていない。また、小・中学校の児童・生徒をボランティアとして受け入れ、園児との交流が図られていた。
II-4-(2)	園長が地域の各関係機関、団体の役員を務め、少子化・過疎化という課題や情報収集がなされていた。
II-4-(3)	屋間は、父母が就労して祖父母のみとなる世帯が多い地域状況を把握して、園の行事は極力土日に開園する、保護者との懇談は申し出により随時開催するなど、地域ニーズに合わせた対応が見られた。

## Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	B	
	Ⅲ-1-(2) 利用者の満足度の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	B	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	B	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	B	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	A	A
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			A	A	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	B	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	B	A	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		B	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	B	B	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	A	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A	A	

## 【自由記述欄】

Ⅲ-1	月1回の職員会議を設け、また必要に応じて懇談するなどサービスの提供について共通の理解をもつための取り組みが行われている。利用者のプライバシー保護に関する規定マニュアル等は一定整備されているが、研修に関しては一層の取り組みや工夫が求められる。利用者(保護者)の意見や要望を聞き取る機会を設ける点において工夫が見られ、日々保護者との連絡ノートは有効に機能している。
Ⅲ-2	サービスの質の向上に向けた取り組みが職員の参画のもと行われており、その課題に対して必要に応じてサービスの見直しがされている。
Ⅲ-3	現在、当園のホームページは作成・公開されていない。潜在的ニーズや現利用者がさまざまな情報を得やすくするためにも、園独自のまたは法人としてのスケールメリットを活かしたホームページの作成等、情報公開・提供に資する取り組みが求められる。
Ⅲ-4	サービス実施計画に関するアセスメント、課題の抽出、評価、見直しは概ね適切に実施されているが、定期的なマニュアルの見直しが求められる。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【付加基準】 評価結果対比シート

### 保育所

---

受診施設名	龍雲寺保育園
施設種別	保育所
評価機関名	きょうと福祉ネットワーク「一期一会」
訪問調査日	平成20年1月30日

## 【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	A
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	C	A

## 【自由記述欄】

- A-1-(1) 保育計画は子どもの個別な発達を踏まえ、指導計画にも混合保育の特色を生かした独自の工夫がされ、緻密に、丁寧に作成されている。また保護者の意向にも配慮されている。地域の把握(アンケート)はされていないが、広範囲な地域に拘わらず多様な行事に参加し、地域密着の保育を実践されている。指導計画(1ヶ月単位)は職員会議(月1回)で評価し、見直している。
- A-1-(2) 健康管理に関するマニュアルがあり、保護者との健康把握の連携はできている。歯科医の勧めでフッ素洗口を実施している。食事面では食べ物への関心、興味をもつ工夫(三色分け、食育ビデオ、絵本等)や苦手な食べ物に対する調理工夫がなされ、保護者には献立表・給食だよりを配布、参観日の試食会で意見を提供してもらっている。アレルギー疾患の受入れ体制はできている。



評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けられないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	*C
⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	C	*C		

## 【自由記述欄】

A-1-(3) 冬は雪が深いため、建物の工夫(二重窓)や周辺の草刈対策、雪対策と努力され、また保育室は明るく、美しくされて、設備や遊具の管理などを含め屋内外ともに整理、整頓、清潔が徹底している。少人数の保育体制で園児の把握が行き届き、園児は大切にされており、個別な理解ができているとともに、保育士同士の連携も密で、保育効果が高まっている。

A-1-(4) 混合保育により園児がよく受容される一方、園児同士も年長の子が年下の子の面倒をみたり、2歳児も日直当番を担当している。生活空間が十分にあり、豊富な遊具や玩具で自由に素材や用具が扱える工夫がある。何よりも周囲の自然に恵まれた環境が日常の保育にも取り入れられ、自然に親しむ体験を豊かにしている。また都会にはない熊、狸、いたちが出たり、蜂、マムシが出たりすることへの防御も学び、身につけている。園児も地域の多彩な行事に積極的に参加している。人権や文化の違いの現実はあるが、ことごとく自然に受け入れていくよう努めている。  
⑩・⑪→\*Cは長時間保育・障害者保育について実施していないため、非該当。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	B	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	B	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	
A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	C	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	B
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	
<b>【自由記述欄】</b>				
A-2-(1)	送迎はバス運行のため、日常的に保護者とのコミュニケーションがある。連絡帳の活用でコミュニケーションがより有効に補完されている。保護者と園や職員との信頼関係は厚いものがあるので、今後も保護者と直接的に意見を聞く機会が増えることが望まれる。 保護者による保育参加は保育参観日(年間3回)や子供と参加する行事(園と地域あわせ10回以上)を設け試みていることが、園と保護者の話し合う機会となっている。5歳児の保護者とは役員会、行事の準備でよく話し合いをもっている。			
A-3-(1)	衛生管理マニュアルにより調理場、保育室、トイレは担当者により管理、清掃、消毒実施され、清潔である。食中毒マニュアルにより消毒、手洗の励行、そして研修会への参加もなされている。			